

<レポート>

平成13年度全環研騒音振動担当者会議の報告

全国環境研協議会の騒音振動担当者会議が平成13年9月12日、福岡県春日市のクローバープラザにおいて開催された。この会議は全環研の騒音振動担当者が一堂に会し、関係する技術情報等の交換を行うことにより、騒音振動の調査研究、業務の一層の充実を図ることを目的としたものである。

昨年、第1回目が東京都環境科学研究所のお世話で開催されたが、会議の開催時期、場所については、昨年度のアンケート調査で騒音振動の専門学会である日本騒音制御工学会にあわせた方が参加しやすいという意見が多数を占めていたため、本年度もこの学会(9月13～14日、九州芸術工科大学で開催)にあわせた。会議前日には関東、東北地方に台風が接近し、この地域からの参加が心配されたが、予定どおり58名(環境省2名、研究機関35名、行政機関21名)の参加を得て、無事開催することができた。

当日は、開催地の福岡県保健環境研究所・加藤元博所長のあいさつの後、次の5題の発表が行われた。

一般発表

座長 兵庫県立公害研究所・住友 聡一

- ① 騒音規制法令における課題
東京都環境科学研究所 末岡 伸一
- ② 現行の道路交通振動評価の問題点と改善方向—大型車振動(間欠性および最大値)と苦情との関係—

千葉県環境研究センター 樋口 茂生

- ③ 道路に面する地域における環境騒音測定方法に関する検討—測定時期と測定時間について—

宮城県保健環境センター 菊地 英男

特別発表

座長 東京都環境科学研究所・末岡 伸一

- ① 平成12年度低周波音全国状況調査結果について

環境省大気生活環境室・石井 鉄雄

- ② 自動車騒音の常時監視の実施状況

環境省自動車環境対策課 野田 主馬

発表時間は、質問・討論を含めて1件25～30分の予定だったが、各発表とも時間をオーバーするほどの熱心な質疑応答が行われた。環境省に対しては、法定受託事務として地方自治体が行うことになった自動車騒音常時監視業務や騒音に係る環境基準の面的評価を実施するに当たっての財源措置(補助)を求める要望、意見等が出された。

また会議終了後には、情報交換と担当者間の親睦を兼ねた懇親会(22名参加)を開き、夜遅くまで議論(歓談)し、大いに親睦を深めた。

なお、来年度の会議は神奈川県環境科学センターが次期事務局としてご尽力いただくことになっている。

最後に、今回の会議を開催するに当たり、いろいろお世話をしていただいた関係機関のみなさまに深く感謝申し上げます。

(世話人：福岡県保健環境研究所・木本 行雄)